

くしもと

第14号 2012年 3月



議会だより



田原森戸崎の海霧

誌
面
紹
介

◆ 9月定例議会の概要	P 2～3
◆ 12月定例議会・決算委員会報告	P 4～5
◆ 一般質問	P 6～12上
◆ 東牟婁郡町村議会全議員研修	P 12下
◆ 常任委員会視察報告	P 13～15
◆ 議会の動き・編集後記	P 16

9月定例議会

○22年度一般会計他19件の決算の認定

決算特別委員会を設置して付託。今年から委員数を6名で構成し、12月定例会まで継続審査となりました。

○工事請負契約の締結

「サンゴの湯」新築工事について、株式会社坂井組との工事請負契約の締結が全員一致で承認されました。

○エネルギー政策の転換を求める意見書

仲江議員が提出者となり、川勝議員、漆畑議員、和田(孝)議員が賛成者となつて出された意見書。全員一致で可決されました。

○漁業用軽油にかかる軽油取引税の免税措置に関する意見書

和歌山東漁協組合より出された要望書に基づいて、産業建設常任委員長が提出者となつて出された意見書。全員一致で可決されました。

○平成23年度一般会計補正予算

会期中に出された補正第5号と併せて、今年度の一般会計予算の総額は、112億7,177万円となりました。

(補正第4号)			
橋杭岩前駐車場整備設計委託料	557万円		
避難路整備工事追加)	396万円		
防災行政無線屋外子局増設工事	648万円		
安指漁港整備工事	1,000万円		
(補正第5号)			
防災対策費、宿泊施設使用料	102万円		
町道災害復旧工事(28箇所)	587万円		

第4回臨時議会

◎一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ485万円を追加し、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ112億7,661万9千円となりました。

【主なもの】

シャトルバス運行事業	△45万円
共同作業場災害復旧事業	408万円
憩の家鶴ヶ浜災害復旧事業	122万円



病院シャトルバス

◎職員給与に関する条例等の一部改正について

満場一致で可決されました。

◎財産の取得について

消防緊急司令装置(指令台)の購入について、満場一致で可決されました。

◎工事請負契約について

消防防災センター建設工事は株小森組。電気設備工事は(有)大塚電気工事。機械設備は(株)ツジヤ商会在それぞれ落札した事に関し、工事請負契約を締結することが可決されました。

平成23年11月22日に第4回臨時議会が招集されました。審議された主な議案を紹介します。

9月定例議会

概要

平成23年第3回定例会は、9月14日(水)より28日(水)までの日程で開催されました。

条例案件13件、補正予算案件8件、平成22年度決算認定案件20件、その他の案件7件、意見書2件の審議が行われました。



灯台官舎暖炉



サンゴ台ヘリポート

主な議案と説明

○22年度決算に基づく健全化判断比率について

町の財政指標の公表。各判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回り、良好な比率となつていますが、実質公債費比率と将来負担比率の減少は、新病院事業や防災センター建設事業のほか多くの事業計画があり、比率が悪化することもあり、慎重な財政運営を必要とします。

○22年度決算に基づく公営企業における資金不足比率について

公営企業の資金不足比率の公表。国民宿舎あらふねの会計が124.9%と基準の20%を大幅に上回っている以外は問題ありません。

○固定資産評価委員の選任

任期満了に伴い、串橋達裕氏、中根英樹氏、中道眞吾氏が再任されました。

○病院事業の設置等に関する条例の全部改正

新病院開設のための条例。病院の正式名称は「くしもと町立病院」です。

○サンゴ台防災ヘリコプター場外離着陸場条例

緊急医療、防災活動、捜査、救難活動のため、サンゴ台(新病院敷地内)に防災ヘリコプター場外離着陸場を設置します。

○公の施設の区域外設置に関する協議

古座川町との協議において「古座川ふるさとバス」が古座川町民の通院のため新病院へ乗り入れる事になりました。

○串本町病院事業管理者の給与及び勤務時間等に関する条例

地方公営企業法に基づき、新病院開設には病院責任者として「管理者」を置くことになりました。条例は管理者の給与を定めるものです。(管理者の給料を、月額40万4000円とするものです)

○樫野埼灯台旧官舎条例

日本最古の石造り灯台である、樫野埼灯台に隣接した建物を後世に残すため修復保存を行つて、一般公開される事になりました。名称は「樫野埼灯台旧官舎」です。

○暴力団排除条例

串本町から暴力団排除を推進し、町民の安全安心な生活を確保し、町内における社会経済活動の発展に寄与する事を目的としています。



決算審査特別委員会報告



例年の決算委員会は9名で構成されてきましたが、今年度は3名減少の6名での構成となりました。委員会の会議は委員会室を利用するのが普通ですが、決算委員会は説明員の人数が多いため、本会議場を使って開かれました。

会議は10月19・20・21・24・25日の5日間にわたって開かれ、会計管理者・監査委員・所管の課長と担当職員の出席を求めて慎重に審査が行われました。25日の最終日には「町長の見解を質しておく必要がある事項」との認識のもと、各会計の審査の中で出された意見を参考に、5項目について、田嶋町長への総括質疑を行いました。

○滞納対策の今後の具体的な方針について
町営住宅使用料の徴収体制等、運営方針も含めて

○救急救命士養成など負担金の軽減について
市町村長から県へ要望できないか

○クラブ活動遠征費補助に関して
県大会、近畿大会参加時に保護者負担がないような方策を

○廃プラスチック(硬質プラスチックを含む)の焼却について
焼却できるよう田原区と協議できないか

○清風寮・大水崎住宅敷地の問題について
経過及び今後の方針を

総括質疑終了後、各会計の決算認定について採決が行われましたが、討論も無く全ての会計決算が全員一致で認定されました。



9月議会に提出された22年度各会計の決算認定についての議案は決算審査特別委員会を設置して付託・審査されました。
委員会のメンバーは委員長 仲江孝丸、副委員長 川端保壽、委員 角將範・沼谷美次・松下修巳・和田孝明の各議員です。

12月定例議会

概要

平成23年第4回定例会は、12月8日(木)より16日(金)までの日程で開催されました。

提出された案件は、当局から条例9件、補正予算5件、平成22年度決算認定案件20件の審議が行われました。



古座福祉センター



出雲幼稚園

主な議案と説明

○機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

課の統合、グループ制導入などを行うため、関係条例を整備するもの。参事の扱い等を巡って反対討論も行われたが、採決の結果賛成多数で可決されました。

賛成者11名 (仲江、結城、和田良、村上、

和田孝、椿谷、寺町、橋爪、

沼谷、岡、梅野)

反対者6名 (松下、川端、川勝、水口、

漆畑、角)

○町総合計画審議会設置条例の一部改正

「市町村基本構想策定のため同法」を削る条例改正を行うもの。

○非常勤の職員等の報酬に関する条例の一部改正

体育指導委員がスポーツ推進委員にかわったことに伴い、所要の改正を行うもの。

○税条例の一部改正

固定資産税第一期の納期を変更するとともに、同税の全期前納報奨金制度を廃止するため、条例改正を行うもの。

○町立幼稚園条例の一部改正

園児数の減少により、町立出雲幼稚園を来年度より廃園にするため、条例改正を行うもの。

○古座福祉センター条例の一部改正

同センターの事業として指定管理できるものに通所介護事業を加えるため、条例改正を行うもの。

○病院事業の設置に関する条例の一部改正

病院事業として項目に「国民健康保険法」を加える条例改正を行うもの。

○病院問題検討委員会設置条例の廃止

新病院完成に伴い条例を廃止する。

○消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防法改正に伴い条例改正をおこなうもの。

○平成23年度一般会計補正予算(第7号)

今年度の一般会計予算の総額は11億8593万円となりました。

一般質問

③新病院経営方針
(答)提言の経営会議は管理者と連絡を密にし、十分協議してゆく。

②橋杭公園整備推進方
(答)国立公園の制約があるが提言内容は十分認識し取組み、串本漁協の協力を求め推進する。

①防災対策(水道取水場、避難路整備外)
(答)水道取水場整備事業はH25年以降検討、取水口、串本ナンテン間の450ミリ石綿管取替計画を進める。
避難路整備は、各地自主防災会と協議し推進する。河川浚渫・管理等は県当局と協議促進。災害備蓄品を揃え各地区避難施設に割り振って置きた。



川勝 昇

〈12月議会〉

①トレス市(木曜島)との友好交流方

(答)串本と木曜島の歴史は重要。提案の子供を中心にした人的交流、経済交流も大切。

②防災対策(避難路整備と財政調整基金の活用)
(答)基金を活用して1本でも多くの避難路、避難地整備をしたい。その後将来を見据え防災対策基金を考えたい。

③H24年度予算編成基本方針
(答)行政と住民の協力による防災力の向上。暮らしの安心確保・子育て支援の強化・安心安全活力のある町づくりを担う人づくり、観光振興・高台を活かした町づくり・財政健全化と機構改革・財政の効率化に最善を期す。



松下 修巳

【12月議会】

1. 防災対策について

① 避難路と避難場所について
② 通信手段について
③ 町内放送について

2. チョイのりサイクリングについて

① 宣伝内容とその効果は。
② この1年間の取組と実績は。
③ 今後の計画は。

3. 串本町長期総合計画について

① 人を育てる町づくりについて
② 火葬場について
③ 庁舎建設検討委員会について
④ 今後の町の収入と職員人件費について。

東日本大震災を教訓にし、避難路の整備や避難場所の整備を要望致しました。
町長からは、鋭意進めているとお答えでした。携帯電話の不感地域については電話会社について。



要望しているとお応えでした。聞こえにくい町内放送については、改善に努めているとお答えでしたが、携帯電話等の導入も要望致しました。
チョイのりサイクリングについては、震災や水害災害の影響が出ていますが、宣伝や各事業所への働きかけの効果も出ています。利用台数が増えたと伸びるよう努力を要望致しました。
町づくりは人づくりからとの考えで、人を育てるためにもっとお金を使って欲しいと要望致しました。特に子どもたちを育て、教育レベルを上げる努力を要望致しました。
火葬場・庁舎等の建設は、町の現状と将来を見据えた検討を要望致しました。
将来にわたって無理のない財政計画をたて、お金の使い方を考えて欲しいと要望致しました。



川端 保壽

【9月議会】

1. 台風12号による豪雨被害について

(質)被害を受けた他の町の方々に空き家住宅の提供を。
(答)お互いに連携をとりながらどういった災害支援を要望するのか町の対応が決まってきました。
(質)罹災証明と災害義援金の受け付けは。
(答)調査が出来次第被災者に交付していきたい。県の開設に伴い町でも窓口の方へ義援箱を設置しています。
(質)ボランティアセンターの設置を。
(答)社会福祉協議会との連携が必要になると思います。

2. 橋杭岩前駐車場員店について
(質)解体工事はどのようなになっていますか。
(答)建物は漁業組合の方で解体していただき、この事業認定に当り県との協議の中で環境省の同意書を提出する。事業認定が完了するのが来年度に入ってからで解体は半年以上遅れてきます。

入ってからで解体は半年以上遅れてきます。

【12月議会】

1. 東日本大震災で発生したガレキ処理について

(質)災害協定を結んでいる宮古市のガレキは約34年分、約70万トン有りますが、受け入れは検討していますか。
(答)田並にある最終処分場の現状を考慮に当たって、平成27年3月末をもって閉鎖、受け入れられる状況にはないということです。

2. 地域公共交通について
(質)新病院へのバス運行について。
(答)路線の変更あるいは延長をお願いする場合、その分は町で負担することになります。
(質)シャトルバス、シャトルカーについて。
(答)多くは停留所をふやしていただきたいという要望が寄せられています。

(質)高齢者の免許証返納制度について。
(答)交通安全対策として全国的にふえつつある一方で、自主返納に対する優遇措置であり、県内の自治体が制度をばばつ取り入れています。今後検討していきたい。



仲江 孝丸

9月議会

①再生利用エネルギーの活用促進を

②防災計画の見直しに関して
原発事故以降の現状をふまえて、間伐材や流木を利用する木質バイオマスエネルギーの活用など、脱原発の具体的な行動を提起。次に9月の台風での避難勧告が遅れた問題で、現行のハザードマップが避難勧告の妨げとなった現状を指摘。国・県の指示待ちではなく、歴史の教訓に学び、住民の智慧を集めた計画策定を求めました。

12月議会

①観光行政の在り方について
②業務委託について
③防災計画の見直しについて
新町発足時より観光担当の



西向鶴分浜に漂着した流木

職員が減少していることなどから、守りになっていないか質問。観光協会や教育旅行誘致協議会の体制強化を提起。町長も組織再編を含め人的にも支援を検討していることを答弁。
委託事業についてはそもそも論を質問した上で、運動団体からの要望を受けて、先に委託先ありきの事業が行われていることを指摘。10年かかって磯根回復の事業効果が現れていないことから廃止を求めましたが、当局は「実験段階」との苦しい答弁で、今後も継続する立場を表明しました。

一般質問

一般質問

＊新串本病院
「より良い医療の提供は健全な経営にある」事業管理者と職員の意識改革と経営改革
串本病院の使命と未来像
町長 一層の近畿大学との信頼関係を築いていく。

＊台風12号の経済対策（紀南全域での対策） 同じ県民身

＊防災対策・危機管理
高速道路の取り付け道路工事で道路の保存
町長 出来る範囲で取り付け道路道を払い下げてもらう。



水口 崇

内の方が被災している、東日本大震災の時のように義援金を集めては。
町長 串本も被災を受けている。町を挙げてと言う行動はしない。県に任す。
＊近隣町村は、義援金集めを行っています。

＊教育現場
学校給食実施が県下最後となった理由（合併後、新宮市・田辺市・白浜町・和歌山市が給食を実施）串本町は、食育への取り組みが非常に低い町である。

＊教育レベルの向上
「学問は人間の生活を豊かにする手段である」フレッジメント Family 全国教育レベルランキング串本 1421/1947「教育予算を増やし教育環境の向上を目指す」
町長 一生懸命に教育に取り組んでいる。

＊国際交流（映画他）
行政の映画制作からの撤退
民間に任すべきである。（秋月達郎・本「海の翼」）



漆畑 繁生

○避難指示、避難勧告について

串本町地域防災計画には、古座川の氾濫については月野瀬、相瀬に計測地があり、避難指示、避難勧告を出す事になっているが、田原川についてはその基準はなく、今回の台風12号において自主避難をしました。町として串本町地域防災計画に田原川の氾濫基準を盛り込むよう指摘しました。

○職員採用について

串本町行政診断書には、財政状況に過度に左右されずに定期的に採用すべきとあり、19人辞め13人も雇ったというが、将来的に平均年齢が高くなり組織の硬直化になり、辞める職員が少ない年には採用できない事にもなりかねない。単年度での多数の職員採用を



田原川氾濫の跡

ひかえ、毎年定期的に採用すべき。

○串本地区活性化計画について

処理加工、集出荷貯蔵施設に総工費8億1400万、うち4億700万町費。この施設をいかす漁業関係の所得向上の年次別数値目標をたてるべき。

一般質問



結城 力

【12月議会】

1. 橋杭岩崩落について

（1）橋杭岩の現状調査とパブリックコメントの実施を提案する。



橋杭岩

2. トレス市との友好都市協定締結による今後の町の取り組みについて

3. 行財政改革と行財政運営について

（1）これから実施する、行財政改革を成功させるために必要なことは。
（2）行財政運営を適切に行うために必要な視点は。



トレス市長との懇親会



和田 良太

（1）台風12号で我が串本町は大きな被害が出なかった。ライフラインの水道施設が断水せずに送水できたことは町民にとっては相当よかったんじゃないかと。普通水道の栓を開けば水が出るのが当たり前と思うところだが、那智勝浦町の市野々の友達とに見舞いにいくと水道が来ないということが電気も来ないよりも辛いと言っていました。水道課の皆さんは2日3日4日と寝ずに送水の配電盤が壊れその中消防ポンプとか自家発電をまわしての送水をして断水することがなかったことに感謝しています。また、水道の本体施設に対して新しく古田地区の高台にいろいろと議論があったが移設したことがよかったと思う。

答：災害の後各首長に電話をして何が必要ですかと言うと即座に水が欲しいという話がきました。そして給水車をすぐに走らせました。水道というのは町民にとつたら大変重要なものであると改めて感じるものであるとです。施設を高台にあげていったというのは大正解と思う。

（2）これからの町営住宅の建設について高齢者共同住宅を各地区に建設してはどうかと。なぜ必要か。65歳以上の人口7000人のうち一人暮らし2120人の中に余裕のある人、国民年金補助を受けて生活している人も少なくないと思う中、一軒家（単独）で生活すると電気、ガス、水道、電話というのは結構お金がかかる。

そこで食事（台所）、風呂、談話室は共同、寝室は別という住宅。経費が安く済むものがあるが一人暮らしの寂しいという話もよく聞く。また津波の被害に遭わない地域に高齢者住宅を造っていくというのはこれから計画していてもいいのではと思うが。

答：食事をつのところでやれば会話も生まれると思うが、そういうのに参加しにくい難しい問題もでてくると思いますが、次の前地住宅の協議会の中で話し合ってもいいです。

（3）高速道路の早期推進ということで、この前の12号台風の熊野川の災害による168号線の通行止め、我が町も台風の越波による42号線の通行止めなど災害がおきると孤立間違いなしのこの地方、また津波想定18メートルと言われるおり、高速道路が避難場所といえる。高架道路つくると海岸のそばに家がある中、避難道路を造りいってどれだけのものが出るのか。民家の近くに高架の橋桁を三重県では42号線沿いに高架の橋桁を造っており。まあこの話は我々末端の議員がこで言ってもどうしようもないですが、

答：今こそ国会議員の先生に要望をあげていこうと思っています。奥を通らないで海岸線とみなが避難する形をとるように国会議員に陳情したいと思う。

（4）廃校舎の利用
（5）今回退職者の多い中、次の12月議会から新しい課長の下、予算を組むべきという質問をした。

一般質問

◎機構改革について
六十二名もある管理職員が将来二十二名になり、二つの課が減ることにより明確化・簡素化になることにより、市民のサービス低下にならないよう職員の意識向上のためのシステムづくりについて質問をしました。

◎新病院について
入院患者と通院患者の状況を聞き町民に利用しやすい安心・安全な病院体制について質問をしました。



橋爪 和雄

【12月議会】

私の今回の一般質問。



◎定住促進について。
このままの状況が続くと益々町が細ってしまう。そのようにならないためには町の機能を壊さず若い人材を育てることです。
まずはリーダーシップのとれる職員を育てること。そして串本町に一人でも多くの人が住み、元気になる町独自の新しいメニューの作成について質問をしました。

◎災害の対応について。

①津波対策も兼ねて古座川の浚渫工事を広域で実施し、昔の古座川の深さまで掘っていただけるよう県に対し強く要望をお願いしました。

②ヤンバルトサカヤスデの被害状況を聞き今後の対策について質問をしました。

（答）西の岡の切り取り工事の進捗状況について。この工事は避難場所としての県工事だと認識していますが、この場所には統合小学校・給食センターを建設することになっています。切り取っている高さは海拔12メートルと聞いていますが



沼谷 美次

（質）海岸や川沿いに遠隔操作のできるカメラの設置は。
（答）津波警報または大津波警報という危険状態や河川の洪水・冠水等の確認も台風等暴風雨が発生しているとき等はパトロール自体も危険ということになってこのように思いますので、カメラの設置については県に要望していきたいと考えています。

（質）大雨・洪水・津波警報時に巡回の命令を出すわけですが、巡回中に被害にあった事例はありますか。

（答）非常に危険な現場活動になるかと認識しています。今後警戒活動の見直しが必要と考えます。県からも警戒活動に対する一定の考え方も出ているので、津波警報・大津波警報の場合、出て警戒に当たらないという方向になっていくかと思っています。

（答）西の岡の切り取り工事の進捗状況について。この工事は避難場所としての県工事だと認識していますが、この場所には統合小学校・給食センターを建設することになっています。切り取っている高さは海拔12メートルと聞いていますが

（質）今想定されている津波が16メートルという中、そこへ建築物を建設するというのは。
（答）串本建設部の方では高さの検討はしています。また、道路の縦断勾配も考えて高さを検討してくださいと申し入れています。
（質）地震・津波に備えて、駅裏・西の岡の開発について、何時起きるか分からない東南海・南海地震がもし起きた場合、埋立地は液状化を起し、地盤沈下すると思われると思います。そうなったとき、次世代の方はこの地に住めなくなると思います。一刻も早く次世代のために高台の開発を考えてみては。
（答）一年、二年のスパンではなく、10年、20年、30年と町のこれからのヴィジョンを描いておく必要があると思います。高台を切って、高台に上がる人がおるならば、高台に移転できる環境をつくっていくというのは町で必要だと考えています。高台に移転したくても場所がないということになることは、一番不幸なことだと思います。

一般質問



和田 孝明

9月議会 一般質問

①防災体制
地域によっては、災害が起きた時に何処へ逃げたらよいか聞かれない、避難について、地域レベルの分り良い「拡大マップ」を公園・団地等、人の集まる場所に掲示板を設置して行く必要がある、行政の理解を質した。

②新病院事業

新病院開院(11月1日)からは、「公営企業法全部適用」で管理者を置く事になり、病院経営の全ての責任を負う事になるが、町長の責任範囲を質した。

③新庁舎建設

役場庁舎「検討委員会」が、移転についての会議を行っているが、内容がはっきりと伝わって来ない、一年間の答申なので、会議の進展状況を質した。

④地上デジタル化の状況

地デジ難民の中で、チューナー設置(無料世帯)と補助制度の

設置世帯については、問題は多いが、テレビを買えない世帯が多く、今後の検討課題として質した。

12月議会 一般質問

①職員早期退職者について

早期退職者の中で、定年まで2〜3年を残して退職するのは、後輩職員の指導面、行政サービスに影響があるのではないか、行政の見解を質した。

②新病院開院について

11月1日、開院から病院側の対応(患者について、意見が寄せられていて、医師、看護師体制に問題はないか、病院管理者等に院内状況を質した。

③消火体制

11月17日、串本駅前火災について、一名の死亡者が出た事で町民からの苦情の声があり、火災現場の対応はどうなのか、消防長に真意を質した。

④原発と放射線測定

福島原発事故が完全に収束しておらず、放射線量も国の基準は正確なものではなく、町民からは、せめて子供たちの生活の場である学校、保育所、公園の放射線量の測定を出来ないかと要望に応じ、町長の考えを質した。



寺町 忠

9月議会 一般質問

①教育現場での新聞活用をという事で教育委員会としてどのように考えますか？

（教育長）新聞を活用するのは大事なことなので学校長に十分話をしたいと思っています

②地域公共交通について

病院通院バスの運行についての考え方を質問。通院については古座川病院からシャトルバス、串本駅からシャトルカーが運行されるがそれだけでは不便な方が大勢おられると思うので通院バスの運行を考えていただけるよう求めました。

（副町長）将来的にその部分も検討していかなければならないと思います。

12月議会 一般質問

①有害鳥獣対策について
大島島内ではイノシシによる農業被害だけでなく車の接触や県道への落石等人の被害も懸念されるような被害が多

く出ています。町として今後の対策をどう考えているか質問。又、現在対象外になっている檻の設置に対する補助金制度の確立を要望しました。

（町長）全額に別して町としての責任も果たしていく必要があるのではと考えています。するのであれば来年度の当初予算に反映させていければと考えております。

②民泊事業について

民泊については今年度10校で約2500名泊まられています。今後ますます増えてくると考えられます。そこで誘致協議会だけではなかなか取り組みにくい部分もあります。官民一体で取り組む必要があると思います。今現在いただいております財政支援も大事ですが加えて人的支援も非常に大事だと思っています。財政支援に加えて人的支援も1名でも職員派遣を考えていただければと思います。

（町長）町としては本当に力を入れていくべき事業であるとして十分認識しております。人的支援(職員派遣)というものが即答出来るものでもなく、もう少し十分精査した中で答弁させていただきます。

厚生常任委員会 視察報告

日程 H23年 7月18～20日

参加者 川勝昇、水口崇、川端保壽、漆畑繁生、和田孝明、角将範 各委員
橋本病院事務長、稲生企画財政課長、平井議会事務局長

▽視察研修内容(主な事項)

7月18日(串本7時出発)

串本～仙台空港(14時30分着、レンタカー)～松島海岸。家屋、農地、道路等津波の凄い被害状況を見る。松島海岸は島々の点在が好条件なのか紀州と縁の深い五大堂、瑞厳寺等は安泰で人出も多かった。宿舎の山形駅前ホテルに19時30分到着。

7月19日(ホテル9時出発)

◎高島病院＝企業法全部適用と経営方研修(10時～13時)

○病院事業管理者はパン屋社長出身

○経営コンサルタント導入

月3回(10日に1回)診療科目別各部署毎に収支改善対策に取り組む。

○病院黒字の要因

基幹病院へ車で約15分の距離、悪急性期と療養病棟で地域間協力の効果大きい。

○医師確保

町長と管理者が一体で取り組み成果確保。

○病院職員は継続性を重視

医事課長をはじめ異動は控える方針。

一関市ホテル着17時45分。



7月20日(ホテル8時出発)



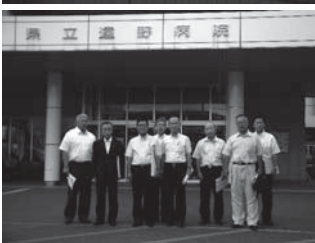
ホテル～気仙沼～陸前高田～釜石、海岸沿津波被災地視察。多くの犠牲者、壊滅の街、液状化の惨状、廃墟の中に佇み、「津波対策は高台へ逃げるに如かず」とつくづく教わる。

◎遠野病院＝医療と介護のドッキング方式研修(13時～15時)

○院長自らパワーポイントにより説明

☆高齢者対策として、施設に入れない人を在宅で診る。
☆在宅に病室の環境をつくる。X線治療も在宅で実施。
☆会計処理も在宅です。家族も病院に来なくてよい。
☆往診は週3回、1軒あたり約20分、1日8軒程度。
☆医療、介護のデータが共存した巡回車使用。リハビリも実施。
☆患者負担の軽減、医療、介護併せて月5万円位の負担。
☆岩手県内には県立病院が21箇所、市町村の負担がない。
医療対策に積極的な県行政の推進に敬意を表し研修を終わりました。

花巻空港18時30分～串本到着24時の研修行程でした。



一般質問



角 将範

9月議会

①串本町行政改革について
行財政改革については、平成17年合併時に、総務省の通達もあり、職階級の見直し等、新町における行革が当時私が議会代表の委員長について当局と議会と一緒に改革を進めてきた所です。田嶋町長に変わって、行財政診断書をコンサルタント料300万円を支払って、それをもとに行革を進めようとしていますが、行革に胸を張っているが、行革に取組んでから早7年近い年月が過ぎていくにもかかわらず、具体的施策が示されていないのが実態です。その間に、規則に違反した不適切な手当てが職員の人件費の高止まりに成っている現状であり、職員の既得権が公平な税金の使い方にならず、町民に廻るお金が何千万も減っている事を具体的に指摘し早急な改善を求めました。

②幼保一元化(幼稚園と保育所を一緒にする事)について

この問題については、平成20年より町が取り組んでいたが今は具体的な検討は行っていないとの答弁

平成25年までの国の方針を待つて検討するとの事ですが、串本町独自の取り組みの問題でもあり、今の町内の保育現況を考えれば、一刻も早い、幼保の一元化を進めるべきであると提案しました。

12月議会

①参事制について

平成24年度より町職員のグループ制の新設と、参事制(6級)を新しく導入する条例案が町長より提案されました。参事制は将来的に人件費の向上につながる事であり、グループ制の班長に4級の職階を与える事も人件費の向上になる事であり、色々と今の既得権を取りつづけた改革であり、一まかしの改革であると私は判断し反対討論を行いました。

②串本町の火葬場建設問題

あまりにも劣悪な旧串本町の火葬場の改善対策については、前々より町当局に早急な対策を求め来たところである。前町長も古座川町新火葬場の共同運営ならびに利用について、交渉を持った経緯もある中、古座川町新火葬場の利用方について早急に行動を起こしてほしいと提案しました。田嶋町長は各区長のアンケートを取ったが、町内建設すべきの意見が多かったという理由で建設の方向に動く様です。私は将来の人口減、お金の事を考えれば、新しい火葬場はいらなと思っています。町民の皆さん、古座川町の新火葬場は立派です。場所は高富から入つてすぐの所です。

東牟婁郡町村議会議員研修



日時…10月6日
午後1時30分から午後3時05分まで
場所…那智勝浦町「ホテル浦島 日昇館」
演題…「東海・東南海・南海地震と津波対策について」
講師…東日本大震災の教訓から
学部長 河田 恵昭 氏

近い将来、必ず起こるといわれている、東海・東南海・南海地震について、津波発生の場合はどうするか、いかに人命を救い被害を小さくするか、東日本大震災を教訓にいま考えなくてはならないこと、スライドを交えて頂きました。5町村から60名余りの議員が参加し研修会が行われました。当地域の大きな関心事であり、いくつかの質問もなされました。また各町村議会との交流もあつて大変有意義な研修会となりました。

産業建設常任委員会 視察報告

議員 6 名 和田良太 岡昇一 仲江孝丸 寺町忠 梅野光児 沼谷美次
職員 3 名 生涯学習課 谷口 産業振興課 浅利 議会事務局 河合 の計 9 名参加



11月9日

第1番の視察地平戸市の生月町。旧古座町との関係の深い古式捕鯨のまちで江戸時代から明治時代にかけて旧古座町からも西海地方に鯨とりに当時でかけていたという説明も受けました。

生月は300年以上前から古式捕鯨の里として栄えたと資料館の学芸員の説明も受けましたが、資料館の維持管理料が人件費をも含め年間4000万円かかるということ。また市の補助はというと2000万円いただいているということでした。文化を伝えていくには金がかかるということでもあります。11時から近くの松浦市に移動する。

14時より松浦市役所で民泊のノウハウを勉強をする。松浦市では松浦半島地域を舞台に体験者と受け入れ側は互いに心高まる体験型観光を展開。民間主導のコーディネート組織である松浦体験型旅行協議会と担い手からなる13地区の受入組織であるNPO体験観光ネットワーク松浦党がネットワークを形成し、全国的に類を見ない組織体制による広域的な取り組みが行われています。

民泊の受け入れは1日最大2000人対応可能。農村漁村を舞台にした豊富な体験プログラムを用意して修学旅行生を中心とした受け入れを行い、平成18年度には1万人を超える受け入れをし、地域経済の活性化にも繋がっています。地域の連携や行政の支援が図られ地域住民に無理がない形で活動が組み立てられており農漁業の体験型が一体化することで収入の安定につながる、成功例と言えます。

ちなみに我が町串本町では受け入れ人数は300人弱であり、受け入れ先の民家と魅力ある体験メニューを作っていく必要があると考えます。まだまだのびる要素のある事業です。

11月10日

岡山理科大学にて淡水でのトラフグ、クエの養殖の講義を聞きました。我が串本町も水産業は漁獲高の低迷、漁業就労者の減少、高齢化、養殖業の低迷等の問題を抱える中の視察でありみんな真剣に拝聴しました。

最初に岡山駅よりバスで岡山理科大学まで移動。丘の上に大学、高校、中学、専門学校があるマンモス学園都市です。まず入り口に水槽があり、そこに金魚と海水魚のクマノミが一緒に泳いでいるのに視察に行った全員が驚いた次第です。この淡水のことを好適環境水とそこの教授等が言っており、要は海水に含まれる、魚が好むナトリウムとかカリウム等の成分と濃度を特定し、わずかな濃度の電解質と淡水を加えることによりできるということでした。閉鎖循環式により外部からの病原菌の遮断による投薬の抑制、畜養槽での温度管理、浄化機能（アンモニア）硝酸をガス化により抗菌の水のため80パーセントの歩止まりが出来たそうです。

また、23度から25度の1年中安定した水温なので餌の食いがよく、トラフグ及びクエ、その他好適環境水での養殖は成長が早いということでした。2年で1キロの海面養殖トラフグの場合、歯を2回くらい切るのですが、ここでは病原菌がないので歯を抜くそうです。また、赤潮、台風、病気が発生した等の心配がない、魚の成長が計算できる。でも欠点もあります。電気代がかかる、機械化にお金がかかる。海面養殖は餌代、人件費がかかる。これからどう変わってくるのかと思います。

11月11日

泉州の『愛彩ランド』と『こーたりーな』という、地元農産物の販売直売所の見学。まあどこにでもあるような、人口がかなり多いところなので開店にたくさんのお客さんがつめかけける状態。まあ串本といえばAコープの1.5倍くらい大きさに地元の農産物を販売しているというところの見学。本来は泉州水ナスの生産と加工の視察をしたかったのですが、11月の季節では生産をしていないとのことでした。

総務常任委員会 視察報告

総務常任委員会では、平成23年10月12日から15日の3泊4日の日程で、県外行政視察を行いました。視察先は、北海道の栗山町（議会の活性化：一般質問時での町長への反問権付与調査研究等）、夕張市（行財政改革：破綻自治体の財政再建への取組現況調査）、当別町（地域公共交通：コミュニティバスの成功事例調査研究）の3カ所の自治体を訪れました。

いずれも、総務常任委員会が所管する政策課題で、重要と思われるテーマを選定し委員会全員で視察先を決定しました。



栗山町は、住民に開かれた議会・議員の質の向上を目指して、いち早く議会基本条例を制定し、先進的な施策を実施している町です。例えば、①議会（議員全員が参加）が町民に自けた報告会を、年1回町内全地区で実施。②議会に要望・陳情等があった場合は、幅広く意見を聞くため関係者や住民・団体等を交えて一般会議を開催。③議会の会議は、定例会・委員会をインターネットによる生中継、町内テレビでの放送を実施。④議員の質問に対して、町長等へ反問権を付与している。等々枚挙にいとまがありません。

今後、串本町議会の活性化に役立つ有意義な視察でありました。

栗山町

夕張市



夕張市の行政視察で強く印象を受けた事は、職員のギスギスした態度でした。自治体が破綻すれば職員も町民も苦勞する。私たち視察参加者全員が、健全な財政運営がいかに大事であるか痛感しました。

視察参加者

委員長	結城	力
委員	椿谷	勲
委員	橋爪	和雄
委員	濱田	勝裕

議会事務局	尾鷲
企画財政課	田中
企画財政課	温井

当別町



当別町は、コミュニティ・バス（当別町ふれあいバス）を平成18年4月から運行を開始し、成功している数少ない自治体です。串本町の参考になればと熱心に話を聞きました。が、札幌市近郊の町で大学も町内に位置し、基礎的条件が串本町と乖離しているため、参考となる所の少ない視察でした。

紙面の都合上詳細に報告できませんでしたが、私たち総務常任委員会委員一同、今回の行政視察を活かすよう、議会活動に取り組んでまいります。

議会の動き

《本会議》

・9月14日～28日 第3回定例会 ・11月22日 第4回臨時会 ・12月 8日～16日 第4回定例会

《委員会》

【常任委員会】

- ・ 8月 9日 総務常任委員会
- ・ 8月25日 産業建設常任委員会
- ・ 9月 6日 厚生常任委員会
- ・ 9月14日 総務常任委員会
- ・ 9月28日 産業建設常任委員会
- ・11月14日 厚生常任委員会
- ・11月11日 総務常任委員会
- ・11月29日 産業建設常任委員会
- ・ 1月12日 厚生常任委員会

【議会運営委員会】

- ・ 8月25日 反問権について・決算委員会について
- ・ 9月 7日 第3回定例会の運営について
- ・11月22日 反問権について・議場の椅子について
- ・12月 1日 第4回定例会の運営について

【全員協議会】

- ・ 9月15日 戸別受信機について
- ・12月 8日 反問権について、議場の椅子について
- ・12月14日 南紀園の建設にかかる負担金について

【特別委員会】

- ・ 8月 1日 議会広報特別委員会
- ・ 8月10日 議会広報特別委員会
- ・10月19日 決算審査特別委員会
- ・10月20日 決算審査特別委員会
- ・10月21日 決算審査特別委員会
- ・10月24日 決算審査特別委員会
- ・10月25日 決算審査特別委員会
- ・ 1月11日 議会広報特別委員会



西ノ岡工事現場



町展作品

《議員研修》

- ・10月 6日 東牟婁郡町村議会議員研修会（那智勝浦町）

議長 公務日誌（主なもの）（H23年8月～H24年1月）

8月	4日	郡町村議会議長会	（那智勝浦町）	11月	16日	町村議会議長全国大会	（東京）
	6日	第7回串本まつり			19日	台風12号復興意見交換会	（田辺市）
	8日	トルコ軍艦親善来町式典	（大島ほか）		20日	ふれあいいきいきまつり（文化センター）	
	9日	水産振興会総会	（和歌山東漁協）		21日	広域市町村圏事務組合議会	（新宮市）
10月	13日	第5回南端学童野球大会	（サンナンタン）	12月	23日	警察防犯少年剣道大会	（串中体育館）
	1日	近畿大学理事長葬儀	（大阪市）		25日	人権講演会	（文化センター）
	2日	くしもと町立病院竣工式	（サンゴ台）		2日	湯川・上田原間道路整備要望	（県庁）
11月	29日	防災講演会	（文化センター）	1月	4日	南端グランドゴルフ大会	（サンナンタン）
	1日	町立病院開院テープカット	（サンゴ台）		7日	トレス市代表団来町記念式典等	（潮岬ほか）
	6日	第7回町民大運動会	（サンナンタン）		3日	成人式	（ロイヤルホテル）
	10日	近畿自動車道促進協要望活動	（東京）		8日	消防出初式	（文化センター）
	13日	農林水産まつり	（AコープVASEO）		28日	本州最南端の火祭り	（潮岬）



和岡 孝明 岡 昇一 松下 修巳 委員 川端 保壽 委員長 橋爪 和雄 副委員長 仲江 孝丸

編集委員

一般質問原稿は各議員が、視察報告は各常任委員長が執筆していますが、前号から原稿の字数制限をとりはらった関係で、長文の原稿が増えてきて、枠内に入れるために文字サイズを小さくしてようやく収まった原稿もありました。「見易く簡潔に」が広報編集の基本ですが、手を加えないほうが、各議員の性格が表れて面白いのではないのでしょうか。

編集後記